

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成29年9月21日
タイトル	水土里レポートが繋ぐ土地改良区の輪！2017
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成29年9月7日（木）兵庫県土地改良事業団体連合会西播磨支部より福元晶三支部長をはじめ、役員、市町担当職員35名の皆様が視察研修に来られました。

2階大会議室において、杉原常務理事から「土地改良区の概要」「疏水百選・芦田川用水」について、小坂主任から「七社頭首工の概要」、佐々田から「21世紀土地改良区創造運動の取組」について説明しました。

質疑応答では、「土地改良施設の管理」「施設管理者の高齢化」などについて、都市化が進展し農家が減少する中で一般市民と協力して農業用水路の草刈りをするなど具体的な活動について、また都市化に伴い利水と併せて治水の調整が重要なことなど活発な意見交換をすることができました。



施設の視察として「七社頭首工」の視察をすることとなりバスで移動するため、一緒にバスに乗り込ませていただき、道中の土地改良施設や福山市の特産物である「くわい」の説明をしました。

七社頭首工では頭首工や管理室の見学し、野田管理者が操作について、小坂主任が施設の説明をしました。間近で頭首工を見ていただくことができ頭首工の仕組みなど熱心に見ておられました。



水土里ネット福山は21世紀土地改良区創造運動の一環として「水土里レポート」を継続的に投稿しており、このレポートをきっかけに年間数件の視察研修を受け入れています。今回の視察では水土里レポートで紹介した施設の視察を希望されましたが、道路が狭隘なため立寄ることができませんでした。希望される研修施設が見学できるよう検討していきたいと思えます。

今後も視察研修を積極的に受け入れ「水土里ネット」の輪をより広げてまいります。

七社頭首工は疏水百選に選ばれた「芦田川用水」の取水施設で水がめの三川ダムからの放流水を一級河川芦田川より取水し、かんがい面積約300haに配水しています。

受益地の主な農作物は水稻ですが福山市の特産物である「くわい」の収穫のため、10月から12月は「くわい収穫期」として水利権があることが特徴です。